福祉情報誌

暮らしに役立つ、ちょっとわくわくすることがある、そんな情報を贈ります。

平成19年6月19日（毎週火曜日）増刊　AJU通刊7982号
昭和54年8月10日第三種郵便物許可
発行所／東海身体障害者団体定期刊行物発行協会
名古屋市中区丸の内3-6-43　みこころセンター4F

AJU自立の家

編集／社会福祉法人AJU自立の家
福祉情報誌発行委員会
発行／AJU車いすセンター
AJU自立生活情報センター
わだちコンピュータハウス
連絡先／〒466−0025
名古屋市昭和区下構町1−3−3
わだちコンピュータハウス内
TEL (052) 841−9888
FAX (052) 841−1015
E-mail: f-joho@aju-cil.com

第88号
2007年6月20日号
定価２５０円

テーマ

あなたの声にこたえます。

絵　森みゆき

はじめの一歩をふみだしたあなたへ

●卒業おめでとう特集……1
雅貴くん、武豊中学校を卒業して
●特集　あなたの声に応えます……7
介助者とのほどよい関係（第2弾）
●バリアフリー情報……13
名古屋の市バスと地下鉄の事情
●生活の道具相談室……15
リハ工学カンファレンスへのお誘い
●かつきのページ……16
●トラベル情報……17
●グルメな調査隊　第49弾……18
El Torero（エルトレロ）
●福祉用具情報……19
ウェルフェア2007に行ってきました
●福祉用具のリサイクル情報……20
●読者のこえ……21
投稿「名古屋のバス事情」
投稿「松坂駅にエレベータ」
●いろいろ情報……21
バリアフリーカヌーイベント
車いすダンス教室
自立生活プログラム入門編

雅貴(まさたか)君、武豊中学を卒業して

みなさん、新井雅貴君(脳性マヒ、手動車いす)のことを覚えていますか？

第 70 号で「武豊中学校へ通っています「～雅貴(まさたか)君のこれまでのあゆみ～」として、地域の学校に入るまでのことや中学校での生活の様子を紹介しました。雅貴君は今年の３月に武豊中学校(愛知県)を卒業しました。

そこで、今回は、「中学３年間を振り返って」と「進路の選択について」、雅貴君とお母さんにお話を聞きました。

担当　ちか(関節リウマチ、電動車いす)

１．　中学３年間を振り返って

Q：雅貴君、中学校卒業おめでとう。いろいろなことがあったと思いますが、振り返ってどんなことを思い出しますか？

雅貴君：一番よかったことは、クラス(特殊学級(*1))で同じ学年の子が４人いて、みんなと仲よくでき楽しかったこと。中学校では学年が上がると先輩と呼ばれた。勉強は楽しかった。毎日宿題のプリントがでたけど簡単だった。

印象に残っていることは総合学習で畑作業があり、ボランティアさんで畑に詳しい人の力も借りて、たくさんの作物を収穫したこと。できた作物を学校の中で販売したり、文化祭でも売ったよ。悲しかったことはないよ。

Q：行事など楽しく参加できましたか？

雅貴君：２年生の林間学校では、キャンドルのつどい（親が事前に子ども宛に手紙を書き担任に渡しておく。夜、一人ひとりろうそくに火をともし、その灯りの中で手紙を読む）というのがあって、僕もキャンドルを手に持って手紙を読んだ。手紙を読んで泣いている子もいた。

３年生の体育祭では、クラスの旗を車いすにくくりつけ応援したよ。競技は、障害物競走で、飴食い競争にでたんだ。入れ物に飴だけでなく他のお菓子も入っていて、飴は小さいので一番大きいお菓子をくわえた。

授業の工夫とスクールボランティアさんのサポート

Q：雅貴君の学校での環境を教えてください。

雅貴君：授業はほとんどプリント。理科では楽しい実験や、美術では土器を作ったり、音楽では自分が出せる音でリコーダーを吹いていました。パソコンの時間もあったよ。

教室の机は普通の机だと狭いので、養護学校で使う車いす対応の机を買ってもらいました。机は黒板に近い位置で、机にビニールを敷きプリントが滑りにくく、また筆圧もかけやすくしました。筆記用具等の出し入れは自分でやりました。友だちが手伝ってくれたこともあります。

お母さん：中学校の通常学級の勉強にはついていけないので特殊学級です。少人数で勉強し、その子に合わせての学習内容です。移動やトイレ等、少し余裕をもって動けます。通常学級とも、音楽や行事など同じクラスの仲間として関わることができたと思います。

パニックが起きたりする生徒さんは先生が注意しながら見ていました。

中学校は、教科担任制なので、理科・英語・音楽・美術・家庭科・体育などは、教科の先生と、どちらかの担任（特殊学級２クラスなので）、または、スクールアシスタント(*2)の先生が一緒に入って教えていました。国語や数学は少人数（2～3 人）で担任が教えていました。

授業は、別の机を横に置き、ロッカー代わりに。休み時間は床に下りてストレッチ。冬は、ストーブを入れてもらい、ストーブの近くの席に。寒いときは、ホットカーペットを学校で用意してくれました。

工夫をしたことでは体育の授業が多かったです。歩行器を使って歩くことを入れました。スクールボランティア(*3)さんに入ってもらい、水泳・陸上・バスケット・バドミントン・バレーボールなど、体育の先生の指導で、車いすでも参加できるようにしてくれました。

勉強はみんなと同じようにできたと思います。

Q：雅貴君は、スクールボランティアさんにサポートをしてもらっていましたね。

雅貴君：ボランティアさんには、他に、階段・教室の移動・トイレ介助・着替え、総合学習(マット編み・畑作業など)・郊外学習のサポートをしてもらいました。（階段昇降機の操作もあるので、常に２人体制。授業には入ってもらっていない。通学はお母さんが車を運転して送迎した）

車いすで生活できる学校に

Q：困ったこと、学校に相談したことはどのようなことですか？

お母さん：地域の学校は、車いすで生活することを全く想定していません。足の骨を折ったりする生徒もいますが、松葉杖でなんとか学校に来ています。車いすでの移動は、かなり制限がありました。自分で動ける範囲は少なかったです。段差や階段・坂・砂利道など介助の必要なところは手伝ってもらい、教室や廊下はできるだけ自分で動きました。

トイレも介助が必要なので、介助者も入れる車いす対応のトイレを作ってもらいました。階段に階段昇降機という機械を設置してもらいました。予算的なことも配慮して、先生が学校中の段差にスロープや給食用の机など作ってくれました。

Q：友だちや学校との関係についてはどうでしたか？

雅貴君：慣れてくると、クラス(特殊学級)の子どうしで助け合った。車いすの扱い方や身体介助など上手な子がいて、進んで助けてくれたよ。僕も勉強で得意なところは教えてあげたりした。

お母さん：通常学級とは接する時間も少ないので、そこまではいきません。小学校から一緒だった子が、その子の友だちも連れて、ときどき家に遊びに来てくれました。でも、遊ぶ内容が限られていて、ほとんどゲームかな。元気な子たちとの過ごし方には、かなりのハンディがあると思いま

した。

学校とは、学校行事のたびに、事前の打ち合わせやサポートしてくれる人のお願いなど、学校側としっかり話し合いができての参加だったので、宿泊研修・林間学校・修学旅行・体育祭・文化祭等、安心して参加できました。

たくさんの生徒とたくさんの体験ができた

Q：養護学校では得られなかったのではないかと思うことは？

お母さん：養護学校に通い始め、まだ詳しいことは分かりませんが、中学校のカリキュラムに沿っての学校生活なので、たくさんの体験ができたと思います。それにどのように関わるか、いろいろ問題はありましたが、そのつど話し合い、サポートが必要ならお願いして、みんなと一緒にできました。中学校はたくさんの生徒の中、刺激がたくさんありました。部活動や委員会などの経験もできました。

卒業式には、３年１組１番ということで、１番に名前が呼ばれ、卒業証書を授与されました。事前に練習を重ね、自分でスロープを上がり受け取りました。３年間一生懸命すごした成果だと思います。

親・教師・地域が協力していけば

Q：養護か地域の学校を選択することについて地域の学校に３年間通ってみて

お母さん：今までのことを言いますと、選択というよりは、障害がある子には養護学校が勧められます。就学指導委員会から、養護学校への通知が来ます。確か２学期の終わりごろ、自宅に届きました。地域の学校に行きたいことを強い意志で伝えないと、地域の学校への許可が得られません。本人または家族が、養護学校・地域の学校と、選べる環境になってほしいと思います。

確かに、障害のある子が地域の学校へ通うことの不安はあります。先生も大変だと思います。不安や問題を話し合い、親・教師・地域が協力していけば、本人にとっても・学校にとっても・周りの生徒にとってもプラスになると思っています。理解者が増えてくれることは、大人になってからの暮らしにも影響してくると思います。

地域の学校に通うことで、親の負担が大きいことも事実です。地域の学校を希望したとき、障害によっては親が付き添うことを前提に、入学許可が出る場合があります。親へのサポートは、必要だと思います。

地域の人たちとのつながり

Q：地域の学校を選んでよかったと思うこと

お母さん：中学校を卒業して２ヶ月が経ちます。車いすで通うには、とても条件が厳しい状況の武豊中学校でしたが、今にして思えば、そのことで雅貴の存在を多くの人に知ってもらえ、応援してもらえました。中学校に通っていなければ、今のような人のつながりはなかっただろうし、卒業しても地域の人や先生方とのつながりもあります。友だちとの関係はつながっていきませんが、雅貴のことを知っている子がいるのは、地域で生活していくうえで大切なことだと思います。武豊町ボ

ランティア交流会で、雅貴の学校生活について話しました。みなさんの励ましや、話を聞けてよかったという感想をいただき、地域の学校に行ってよかったと思いました。

２．　進路の選択について

Q：いつごろから考えていましたか？

お母さん：中学３年になってからだと思います。特殊学級での学習評価では、一般入試ができないし、雅貴の場合一般高校を受けるだけの力もないので、高校は専門性のある愛知県立ひいらぎ養護学校(*4)がいいのではと思っていました。

聞いた話では、アスペルガー(*5)や自閉症等、人と関わることが苦手な障害をもつ生徒の親は、かなり悩んでいます。学力があっても、高校生活を送るのに周りの理解がないと難しいとか、教科によってできる・できないの差が激しく、受験には不利だけど、本人は一般高校に行きたいとか。（高校は学力重視なので、誰でもそうですが。）

東京に引っ越したアスペルガーの障害をもつ生徒さんで、手帳を持っていない生徒が養護学校を探したとき、手帳がない生徒は入れませんと言われたそうです。東京は私立の養護学校も多く、費用も一般の私立並みにかかるそうです。

ボーダーのところにいる子は、養護学校へ相談に行っても、うちにくる子ではないですねと言われたりします。では、どこに行けばよいのでしょう。また、養護学校の人数も増えてきて、教室が足りない現状です。ひいらぎ養護も開校時は 90 人（小・中・高）でしたが、３年間で 120 人ほどに増えています。半田養護は生徒がいっぱいでパンクしそうです。

Q：どのようなことが気がかりでしたか？

お母さん：養護学校は見学で様子は見れますが、入ってみて今までの学校生活と違うところもあるので、戸惑うこともあるだろうし、勉強もどのようにしていくのか分からないことへの不安はありました。

Q：高校について知りたい情報はどのように得ましたか？

お母さん：中学３年の１学期に、学校から各養護学校への見学があります。肢体不自由児は、雅貴が初めてだったので、中学校の担任から私にひいらぎ養護の見学のことを聞かれ、見学希望を出しました。学校を通じての申し込みでした。その見学のときに、ひいらぎ養護に高校進学の希望を伝えました。

10月ごろに各養護学校では体験見学を行っており、説明会や見学・授業の体験などができます。小・中学生対象です。高等部は、相談したいときに連絡し、個別に対応してもらえると思います。

あとは、知っている子が養護学校に通っていたり、半田市肢体不自由児・者父母の会の会員なので、会員から様子を聞いたりしました。一般の高校は、学力のこともあり調べませんでした。

一般高校に車いすで通っている子もいます。障害があっても通える・また受け入れ可能な学校や様子などの情報が得られたらいいと思います。

地域の学校・養護学校の
それぞれの持つよさが一緒になれば

Q：雅貴君の希望はどんなことでしたか？

雅貴君：受験勉強は無理だと思った。クラスの仲のよい友だちと半田養護に行きたかったけど、その子は就職することになったので、僕はひいらぎ養護で勉強しようと思った。（スクールバスで30 分ぐらい。遠い子は１時間半乗ることもある。）

お母さん：高校に関しては学校や教育委員会から養護を勧められたことはありませんでした。

特殊学級の生徒は、ほとんど養護学校に行くので、一般の進学説明会には参加していません。

中学２年くらいから、雅貴には「一般高校の受験をしたいなら塾に行って勉強しないと」と言うと、お姉ちゃんの塾通いや受験を見ていたので、「自分には無理だ」と言ってました。「勉強したいなら養護学校で勉強すれば」と伝えました。

今まで一緒に勉強してきた子たちと同じ学校に行きたいとは言ってましたが、学校の特色を伝えて、同じ学校は難しいし、他の子たちも高校はそれぞればらばらに行くことを伝えました。

Q：中学校から高校への進学を考えるとき、将来のことは考えましたか？

雅貴君：学校を出たあとのことは家でときどき話すけど、自分で何ができるか、まだわからない。

お母さん：やはり、卒業後は一番の心配事です。養護学校は、身体・知的・盲・ろう、それぞれに、障害の持つ特性をわかって教育され、身体的な介助やケアは、先生方も勉強されていると思います。情報も実績もあると思うので、親も勉強していけると思いました。また、親の思いと子どもの希望は違うと思うので、いろいろアドバイスしてもらえるのではと思っています。

◆新井さん親子のお話を聞いて

学校のバリアフリーへの整備はこれまでとても遅れていました。しかし、徐々にですが、改善されつつあります。雅貴君が勉強することになり武豊中学校ではバリアフリーの対応をしました。でも、まだ、地域格差があります。雅貴君のお母さんに聞いた話の中に、「東浦町で車いすで小学校（通常学級）に通っている生徒さんは、４年生のときから親が付き添わなくてもよくなったこと。校舎はほとんど車いすでの移動で困らない造り。５・６年生の教室は２階にあるので、５ 年生の 2 学期にエレベーターが設置。５年生の１学期間は、ボランティアさんや先生が対応。来年中学校進学については、中学校にもエレベーター設置の予定ありで、学校や教育委員会側も中学校を勧め、その子は地域の中学校に行きたいと希望。」「東海市の中学校（通常学級）に車いすで通っていた生徒さんには、介助の先生が付いていた。今年から日本福祉大付属高校に進学」ということです。

また、ある親御さんが、「養護学校へ見学したいと連絡したら、今は地域に行く時代になってきたので地域に行けるなら行った方がいいと言われ、見学は出来なかった」ということです。

親御さんとしては、学校への付き添いがなくなっても、「宿題」を見なければならないとなると、学年が上がってくれば負担も大きくなります。本人の負担になってはいけないと思いますが、例えば、ボランティアの方が勉強をみる、といったサポートが生まれるとよいのではと思います。

社会に出るまでの大切な時間をどのような環境でどのように過ごすのか、専門家と言われる人たちだけで決めてしまうのではなく、地域の人や様々なサポーターの人たちと話し合って取り組むことが必要ではと思います。

武豊中学校のように介助員制度(*6)のない地域は多いようです。施設整備とサポーターの充実は欠かせないことと思います。

(*1)特殊学級

2007 年４月１日より、特別支援教育が法的に位置づけられた改正学校教育法が施行され、これまでの特殊学級に代わって、特別支援学級という名称になった。

特別支援教育

従来の特殊教育の対象の障害だけでなく、ＬＤ(学習障害)、ＡＤＨＤ(注意欠陥/多動性障害)、高機能自閉症を含めて障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けて、その一人ひとりの教育的ニーズを把握して、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行う。

文部科学省　特別支援教育に関すること
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main.htm

(*2)スクールアシスタント

教員免許を持った人を町が募集して、授業のサポートに入る。（全校生徒対象）どこに入るかは、各学校で決める。

(*3)スクールボランティア

学校での介助を支援するボランティア。「肢体不自由児・者ボランティア養成講座(社協)」を受講した人たちが「新井さん親子支援」という形で発展。ボランティアの募集は、社協から町の広報に載せてもらったり、ボランティアの集まりの時や人伝いにお願いした。親もスクールボランティアのメンバーに入り、誰も入れないところに親が入るという形。武豊小学校へもサポートに入っているので、お互い助けあっていた。現在も、新井さんは都合のつくときは入っている。学校とのパイプ役は親がしている。町内の学校すべてが受け入れているわけではなく、今のところ 2 校で実施。

(*4)愛知県立ひいらぎ養護学校

平成 16 年４月１日、県内８校目の肢体不自由養護学校として開設。隣接する半田高等学校、半田農業高等学校との日常的な交流を図るとともに、近隣の小・中・高等学校や児童生徒の居住地域の小・中学校との交流を進めている。

また、小・中学校や地域との連携を強め、特別支援教育のセンター的機能の充実を図っている。

『サポーターと行く、武豊中学 雅貴君の修学旅行』

雅貴君に同行して参加したサポーターさんの手記。サポーターさんの旅行代金のことも併せて記載。

http://www.crayon-box.jp/tama/06/travel-report/travel-preparation.htm

(*5)アスペルガー症候群

自閉症の一種。個人の性格ではなくて、脳の機能不全である。コミュニケーションをとったり、相手の気持を配慮したりするのが苦手。

(*6)介助員制度

名古屋市では市立の幼稚園･小学校･中学校に在籍する障害のある児童等に、保護者等の負担を軽減するため、介助員を派遣。校内での移動やトイレ等の介助。平成18年度は、約120名の児童等に対し実施。

加配

学校の先生の定員は、生徒数に応じて決まっている。しかし、校内暴力や不登校などで人出が足りない時は教育委員会に増員を申請することができ、それが認められると、１年間先生を増やしてもらうことができる。

「アスペルガー症候群」「加配」については、ホームページ NHK「福祉ネットワーク」より
http://www.nhk.or.jp/heart-net/fnet/arch/tue/50517.html

介助者と「ほどよい関係」でいられるために…（第２弾）

写真　小学二年生の息子

みなさんこんにちは。私は脳性マヒのアテトーゼ型で、外では電動車いすを使用、うちの中では手動車いすか床を這って移動しています。私の家族は同じ障害を持つ主人と、現在小学校二年生で、今は「名探偵コナン」にはまっている息子の３人家族です。

前回と今回の２回に渡り、読者の声にお応えして、「家族や施設職員以外の介助者との付き合い方」について特集をくみました。

担当　まっち（脳性マヒ、電動車いす）

はじめに

私たちにとって「介助をする人」は、自立した生活をする上で、とても重要な存在です。介助を受ける人とする人が「ほどよい関係」を保つために、どのような工夫、または方法があるか考えようという企画です。

その第１弾として、実際に介助者を取り入れて生活をしている当事者のみなさんにアンケートをとらせてもらい、自分の経験を交えながら、介助者に入ってもらって良かったことや困ったこと、また、困りごとの対処方法等をまとめてみました。

今回は、私たちの生活をサポートする側である介助者のみなさんにアンケートをとらせてもらい、活動する中で良かったことや困りごと、どういった思いで活動されているかということを、私の意見を交えながら書いてみようと思います。

親や施設職員以外の介助者とは？

前回も説明しましたが、もう一度おさらいします。介助者は、大きく分けると「ヘルパー（有償）」と「ボランティア」に分かれます。出会いは様々ですが、ヘルパーはヘルパー事業所のコーディネーターが利用者（当事者）と話し合い、派遣時間や介助内容に応じてコーディネーターが決定した介助者（ヘルパー）を派遣することが多いです。多いと言ったのは、私は現在「セルフコーディネート」で介助者（ヘルパー）に入ってもらっているからです。「セルフコーディネート」というのはヘルパー事業所から介助者（ヘルパー）を紹介してもらい、その後はその人と自分で時間の約束をして、その結果を事業所に報告する方法です。全国の障害当事者による自立生活センターを中心に取り入れています。具体的には、いついつの何時からヘルパーＡさん、何時からヘルパーＢさん、という予定を事業所のコーディネーターが決めるのではなく、自分で直接、紹介してもらったヘルパーと約束をし、予定を組むという仕組みです。そうすることによって、自分が何を手伝ってもらうかという介助内容に最も適したヘルパーに介助者として入ってもらうことができるので、安心して介助が受けられるというメリットがあります。デメリットは、お互いの予定が合わないと、お願いしたい派遣時間に穴が空いてしまい、他のヘルパーを探さなくてはいけないと言った点でしょうか。

一方、ボランティアはサークル活動などで出会ったり、ボランティア情報センターで紹介してもらうことが多いようです。

介助者の方にアンケートを実施しました

今回は、『介助をする人たち』25 名にアンケートをとらせてもらいました。

全ての回答については、付録にまとめましたので、そちらもご参照ください。

年齢　（人）

年齢	人数
10 代	0
20 代	7
30 代	1
40 代	10
50 代	5
60 代	1
70 代以上	0
回答なし	1
合　計	25

性別　（人）

性別	人数
男　性	6
女　性	18
回答なし	1
合　計	25

職業　（人）

職業	人数
施設職員	2
サービス提供責任者	3
ヘルパー	6
ヘルパー（パート）	2
ヘルパー・サービス提供責任者	1
介護福祉士	1
介護支援専門員	1
旅行会社会社員	1
学生	2
専門学校生	2
主婦	1
回答なし	3
合　計	25

介助するときは　（人）

有　償	15
ボランティア	1
両　方	8
回答なし	1
合　計	25

Q．誰かの介助をやってみようと思ったきっかけはどんなことでしたか？

主な意見として、「知人に紹介されて」とか「身内に介助が必要な人がいたから」と言う意見が多かった中、なるほどねえと思ったのは、介護職を選んだ理由に「50 代では仕事が選べないから」と言う意見がありました。そうですね。でもうちへ来てくれている介助者さんは、50 代の方たちが一番「元気ハツラツ！」って感じですよ。

Q．介助者として活動されていて良かったと思うことは何ですか？

「当事者の方に感謝された」や、「自分の視野が広がった」という意見が多かったです。その中で印象に残ったのは、「性格が少し気長になったねと言われた」と言う意見。確かに見守り介助の場合、何もしないで待ってもらうことになるので、忍耐力が養えます。今まで「待たせて悪いなあ」とも思ったけど、「忍耐力を養ってもらう」と思えば少しは気が楽になりそうですね。

Q．逆に活動されていて嫌だなあと思ったことは何ですか？

介助を受ける側としてはあまり見たくない回答ですが、大きく分けて３つの要素があるようです。

１つ目は「介助の頼まれ方」。その日によって怒鳴られたり大きな声やキツい口調、また上からの目線で指示されるという意見がありました。

２つ目は「常識、価値観の違いにぶつかったとき」。異性介助や、車いすを押して地下鉄２区間ほどの距離を歩かされた。基本的な挨拶が出来ないことや約束の時間に大幅に遅れるなどの意見。

３つ目は「当事者（介助を受ける側）の家族からの行為や言動」。当事者の母親にいろいろ言われた。セクハラを受けた。

うーん、「指示の出し方」については私も反省す

べき点です。言語障害があり、かつ、朝の弱い私は、子どもを学校に送り出す前の忙しい時間帯に言葉が通じないと、つい苛立ってしまい強い口調になりがちです。この場を借りてごめんなさいです。「常識、価値観の違い」については難しいですね。回答を見る限りでは「何を考えてんだぁ」とも思いますが、それなりの事情もあるでしょうし。でも圧倒的に「おかしい、ずれてる」と判断できたらその当事者のためでもあるので、思い切って打ち明けてほしいと思います。最後の「家族からのセクハラ」については訴えるべきだと思います。

Q．活動中に何を指示されているのかよく分からないときどうしていますか？

（例えば、「その方に言語障害があった」、「説明がわかりにくい」など）

みなさんのほとんどが「分かるまで何度でも聞く」という基本的な回答を出してもらえてうれしかったです。また、指示の内容を理解するための工夫として、「答えや質問など相手のおっしゃった内容を『Ａですか？Ｂですか？Ｃですか？』と提示して聞き返す」という意見がありました。身体の調子によってしゃべりづらいときにはこの方法はとてもありがたいです。

Q．介助を受ける方に改善してほしいことがあったとき、どう伝えますか？

（例えば、「たくさん指示を出されて、何からしたらよいか困る」、「約束時間にいない」など）

意外に「改善してほしいことはない」という意見が多かったのは驚きました。あとは、「当事者の言い分を聞いてから自分の思いを伝える」という意見や、「事務所やコーディネーターから伝えてもらう」という意見もありました。そんな中で「遅れる場合は連絡がほしい。こちらが必死に指示を聞いているときに、急に冗談は入れないでほしい」という意見。ムムム…もちろん「遅れるときは連絡する」ことは当然なのですが、後者の「必死で聞いているのに冗談を言わないで」というのは介助をする側と受ける側、お互いに性格が理解し合えてないような気がします。そこが人間関係の難しさでもあるのでしょうが、もう一度お互いに見つめ直してもらえると良いなあと思います。

Q．介助を受ける方とどうしても相性が合わなかったときはどうしますか？しましたか？

「仕事と思って行う」や「自分の人格を押さえ、プロの介助者として接する」など、有償で介助者として活動されている方（ヘルパー）は、やはり報酬を得ているので、きっぱり仕事と割り切って、ある程度は我慢して活動している人も多いようですね。

また、「相手からもそう思われるだろうと感じたら早めにひくが、自分の苦手意識で相手に必要とされていれば、できるだけ努力してみる。→もしかして意外な展開が開けるかも。」というように前向きな考えの人も多かったです。

Q．その他、「困ったなあ」と思ったことがあればお願いします。

回答の中に「帰り際、電車に乗せてもらえば到着駅で親が迎えに来るという人で、乗車券を買うお金が足らなかった。私が払ったけど、そんなになるまで買い物するな！（自分でお金の管理ができる人）」や「判断・相談を求められると意見しか言わない。本人が決めれないとき。」という意見がありました。この背景には当事者が、今まで過剰に守られた生活や、長年施設で暮らしていたため、経験不足を伴い、社会の常識からずれてしまう人もいます。難しいとは思いますが、「お金のこと考えてね」とか、「自分のことだから決めようね」と、アドバイスをして

いただけると良いなあと思います。

それからもう一つ、「介護内容が大幅に介護の内容と違っている場合。」とありました。これは恐らく、いつも行っている介助と全く違う介助依頼を突然されるということだと思います。例えば、いつも家事支援をしているお宅なので動きやすいラフな服装で行きます。ところがその日に突然「今日は栄に買い物へ行くので同行をお願いします」という依頼があったとしたら、介助者は普段着に近い服装で栄に行かなくてはいけません。こんなこともあるので、当事者のみなさんも介助者への気配りをお願いしたいと思います。

Q．活動中に介助依頼を受けて、不愉快だなと思ったことはありますか？

不愉快だと思ったこと（人）

思ったこと	人数
ある	13
ない	12
合計	25

Q．「ある」と答えられた方、それはどのような介助でしたか？

ああ、なんだかやっと介助者の本音が聞けたというような質問ですね。「電車の待ち時間に知り合いと話し込んでいて、電車がくる頃にトイレに行きたいと言われた。自分で電車の質問をしておいてそりゃないよ。」、「体に負担がかかる介助なのに『若いからそれくらいはできるでしょ』と言われた。（筋ジスの人の車いすからトイレへのトランス。自分の体重より 10 キロ大きい人でリフト使用をお願いしたが拒否された。）」、「他のヘルパーにしてもらったと得意げに話されると嫌だなと思うときがありました。」

思わず『何を考えとるんじゃ』って怒鳴りたくなりましたが、この当事者さん達は何も考えてなさそうですね。（フー）でもね、でもね、「困った当事者さん」もいれば「困った介助者さん」もいるんですよね。お互いに人間関係について勉強出来る機会があれば良いと思います。

Q．これから誰かの介助をしようと思っている方へ、以下の「心配ごと」について一言アドバイスをお願いします。

《初めてで何も分からないけど、充分な介助が出来るかな？》

やはり皆さん「初めからうまく出来ないのは当たり前」という意見が多かったようです。その中で「初めからできる人はいないし、利用者（当事者）によって全部違うから、充分な介助をしようと思わないで、聞きながらやるのがいいと思う。」という意見がありました。この意見は私自身もおすすめです。例えば、家事支援の食事作りで当事者から「卵焼きを作って」と頼まれたとき、迷うのは味付けですね。お塩を入れる人もいれば砂糖を入れる人もいます。中には“マヨネーズ”なんて人も…。最初は何も分からないので本人に確認をしてから行動するのが一番です。ちなみにうちは砂糖としょうゆ味です。（どうでもいいか…）

《活動中に何か事故があったらどうしよう？》

先輩介助者からのありがたいアドバイスです。

「事故はつき物です。十分に気をつけてください。万が一のため、ボランティア保険に加入してください。プロの方は損害賠償責任保険に加入しているか確認してください。事故を怖がって、活動をやめてしまうことは避けてください。活動をやめてしまうと困るのはあなたを必要としている人たちで

す（後略）」

「充分注意するのはもちろんですが、ささやかな事故であれば、信頼関係がベースにあると大事にはならないで済むかも。『一生懸命やっている』ことが相手に伝わるように。」

まず、ボランティア保険は各市町村の社会福祉協議会が窓口になっているのでご確認ください。それから有償の介助者（ヘルパー）として活動している人は所属している事業所が保険に加入しているか確認してください。これらの意見は介助を受ける私たちにとっても、ありがたいご意見です。ただ、あまり「一生懸命」にならないで軽い気持ちで活動してもらえると良いなあと思います。あとは頑張って活動されてて帰り際に、ホッとした気のゆるみで事故に遭う可能性もあります。気を付けて家路に就いてくださいね。

《空いた時間に何かした方が良いと思うけど、何も指示がないのでどうしよう？》

みなさん「『何か他にありますか？』と尋ね、何もなければ待機をする」という意見がほとんどでした。そんな中で「自分でやることをつくる」という意見があり、これは一見「勝手にしないで」と怒られそうですが、実はうちではよくあることなのです。学校から子どもが帰ってきて夕食までの間、ファミコンにはまってしまって、１時間は動かない。そういうときに介助者さんから「換気扇の掃除でもしましょうか？」と、私の気づかないことをやってくれるありがたい介助者です。あとは病院の待ち時間にクロスワードパズルを持ってきてくれる楽しい介助者さんもいますよ。

《その他、「こうした方がいい」というアドバイスがあればお願いします。》

みなさんとても適切なアドバイスが多かったのですが、その中で「相手が望むことをキャッチできるように柔軟でいること。適度な緊張感とリラックス」や、「利用者さん（当事者）の個性を大切にしてください。その人その人、違うのですから。その人なりの対応を。」という意見がありました。前者の意見は介助を受ける側にも言えることだと思います。介助を受けやすいよう段取りを組んでおくとか、ある程度介助者の性格を把握し、依頼する内容を決めておく。といった柔軟性が必要でしょう。後者の意見は介助を受ける人が同じ障害を持っている人でも、障害の症状や生活環境によって介助方法が異なります。まさに「その人なりの対応」でお願いします。

Q．もし、あなたが「介助される立場」だったら、どんなふうに介助を受けたいですか？

この質問はちょいと“いじわる”かなと思いましたが、「相手の立場に立って介助してほしい」という思いで、あえて質問させてもらいました。

意見としては「気持ちよく介助が受けたい」、「優しい気持ちで接してほしい」、「指示以外のことは勝手にしない」、「プライバシーに気を付けてほしい」というような意見が多かったです。

介助をする立場の人たちも、いつ、介助を受ける立場になるか分かりません。もしそうなってしまったときは、自分の経験を生かし、自信を持って介助を受けられるのではないでしょうか。

ま・と・め

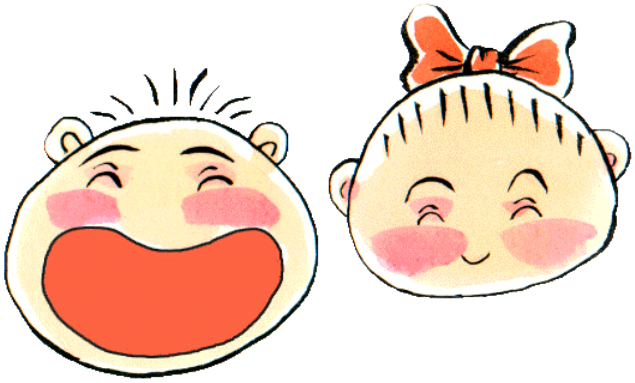
またまた前回に引き続き長い文章になってしまいました。協力していただいた介助者のみなさん、どうもありがとうございました。

本当はこの特集にはちょっと抵抗があったのです。だってねえ、私のところに来てくれている介助者にもアンケートをお願いし、いやなこととか聞くんですよ。過激な意見が出てきたらどうしようとヒヤヒヤでした。

重度の障害を持つ私たちにとって介助者は「空気のような人」です。目立って存在感はないけど、でも居なくては生きていけません。これからも「ふわふわ」と私たちの周りで頑張ってほしいと思います。

最後に、このアンケートの「活動していて良かったと思うこと」の中で、私が一番印象に残ったご意見をご紹介します。とても素晴らしい意見だと思いました。

「自立生活というと、なんだか一生懸命頑張って生きている姿をイメージしていたが、本当は自分なりの生き方を見つけて実行していくことではないか、一つのイメージではなく、十人十色の生活だと教えられた」



みみより情報

名古屋市内の建物や交通機関などのバリアフリー情報満載のガイドブック「遊 You なごや～名古屋マイタウンガイド 2007～」ができました！

初版（昭和 50 年）から数えて 11 作目。AJU 自立の家 わだちコンピュータハウスの障害当事者が中心となって、調査・編集しました。

各区役所の民生課で無料配布していますので、最寄りの区役所をお尋ねください。

名古屋市のノンステップバスと地下鉄のバリアフリー事情　その１

みなさん、こんにちは。アクセス担当だったことを思い出したいづみです。頸随損傷で、手動と電動車いすを使用しています。今回は、読者の方からいただいた「地下鉄のエレベーター設置状況を知りたい」「ノンステップバスの路線及び時刻を知りたい」「駅のエレベーターやバリアフリーについての情報をのせてほしい」という声になんとかお応えしたいと思います。

担当　いづみ(頚隋損傷、電動車いす)

◆ノンステップバスは　どこの路線を走っているの？

わたしは、少なくとも週に２～３回はバスと地下鉄を利用しています。作業所に行くときや通院の帰り、買いもの、教会への行き帰りなどです。はじめてノンステップバスの存在を知った時、最初に気になったのは家から一番近いバス停に停まるかどうか、その路線で走っているかどうかでした。その時は『１０４』で最寄りの営業所の電話番号を調べ、直接尋ねましたが、バス停の名前が分からないと問い合わせたり、検索したりするのが難しいかも知れませんね。そこで、現在は『市バス・地下鉄路線図』というものを利用しています。これは毎年 1 回名古屋市交通局で制作されていて、地下鉄の改札口や駅長室で聞くと無料でもらえます。

★『市バス・地下鉄路線図』を送って欲しい場合
〒460-8508　名古屋市交通局乗客誘致推進室
※送料は 1 部 90 円（切手）

★時刻表をファックスで送ってほしい場合
交通局営業本部自動車部自動車運転課
電話・ファックス 052-972-3870
名古屋市市役所交通課運転サービス係
電話 052-972-3869

★個々のバス停の時刻や地下鉄エレベーターの設置有無など、すぐに知りたい場合
市バス・地下鉄テレホンセンター
電話 052-522-0111（8時～19時／年中無休）

◆地下鉄のエレベーター設置状況は　どうなってるの？

バリアフリーの情報は、名古屋市のホームページで検索することができます。

また、名古屋市交通局から年 6 回くらいのペースで不定期に発行されている『交通局ニュース』という折り込みパンフレットがあり、これに市バスと地下鉄のバリアフリー状況が年 1 回、これも不定期ですが秋～冬くらいに掲載されます。この『交通局ニュース』は無料で、駅の改札口付近や図書館、区役所、生涯学習センターに置かれています。

★『交通局ニュース』を送ってほしい場合
〒460-8508　名古屋市交通局総務部広報広聴室
広報係担当　　※送料は１部 140 円(切手)
電話・ファックス 052-972-3809

※一度連絡して、バリアフリー情報が掲載されている『交通局ニュース』を送ってほしいことを伝え、担当者の名前を聞き、その担当者あてに送料を送ってください。

●こちらからも調べられます
名古屋市交通局ホームページ
http://www.kotsu.city.nagoya.jp/

今号の「読者のこえ」に、「名古屋のバス事情」と題して投稿をいただいています。名古屋の市バスと名鉄バスの車いす対応についてかかれていますので、あわせてお読みください。

～名古屋市営地下鉄　エレベーター（ＥＶ）設置状況～

★＝車いす対応型エスカレーター
⑲⑳＝完成予定年度

※1＝**伏見駅**は、地上～改札口で、**日土地名古屋ビルＥＶ　7:00～22:00**　と
車いす対応型エスカレーターを利用。改札口～ホームは、車いす対応型エスカレーターを利用。
※2＝**今池駅は**、地上～改札口で**今池ガスビルＥＶ　9:00～22:00　（年始年末、休館あり）**　を利用。
改札口～ホームは、車いす対応型エスカレーターを利用。
●＝**名古屋駅→名古屋ターミナルビルＥＶ　6:30～23:00／ルーセントアベニューＥＶ　8:00～22:00**
池下駅→公団サンクレアＥＶ　7:00～24:00

★東山線

駅名		高畑	八田	岩塚	中村公園	中村日赤	本陣	亀島	名古屋	伏見	栄	新栄町	千種	今池	池下	覚王山	本山	東山公園	星ヶ丘	一社	上社	本郷	藤が丘
エレベーター（地上～ホーム）		○	○	○	○	⑲	○		●	※1	○	⑳	○	※2	●	○	○	○	○	○	★	○	○
車いすルート		○	○	○	○	⑲	○		○	○	○	⑳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トイレ	車いす使用者対応	○	○	○	○	⑲	○		○	○	○	⑳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トイレ	ベビーベッド	○	○	○	○		○		○	○	○		○			○	○	○	○	○	○	○	○
トイレ	オスメイト対応洗浄設備	○	○	○			○		○		○		○			○	○	○	○	○	○		○

※3＝**矢場町駅は**、地上～改札口で**久屋大通公園光の広場ＥＶ　6:30～23:00**とスロープ、
改札口～ホームは車いす対応型エスカレーターを利用。
※4＝市役所駅は、地上～改札口でＥＶ、改札口～ホームは車いす階段昇降装置を利用。
※5＝名古屋港駅は、地上～改札口でＥＶ、改札口～ホームは車いす対応型エスカレーターを利用。
●＝**久屋大通駅→セントラルパークＥＶ　7:00～22:00／アネックスＥＶ　10:00～22:00**
／アーバンネット名古屋ビルＥＶ　7:00～22:00

★名城線

駅名		名城線	金山	東別院	上前津	矢場町	栄	久屋大通	市役所	名城公園	黒川	志賀本通	平安通	大曽根	ナゴヤドーム前矢田	砂田橋	茶屋ヶ坂	自由ヶ丘	本山	名古屋大学	八事日赤	八事
エレベーター（地上～ホーム）			○	⑳	○	※3	○	●	※4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
車いすルート			○	⑳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トイレ	車いす使用者対応		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トイレ	ベビーベッド		○	⑳	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トイレ	オスメイト対応洗浄設備		○		○		○		○		○	○	○	○			○	○	○	○	○	○

駅名		リハビリ総合センター	瑞穂運動場東	新瑞橋	妙音通	堀田	伝馬町	神宮西	西高蔵	名港線	日比野	六番町	東海通	港区役所	築地口	名古屋港	上飯田線	平安通	上飯田
エレベーター（地上～ホーム）		○	○	○	⑳	○	⑲	○	⑳		○	○	○	○	○	※5		○	○
車いすルート		○	○	○	⑳	○	⑲	○	⑳		○	○	○	○	○	○		○	○
トイレ	車いす使用者対応	○	○	○		○		○			○	○	○	○	○	○		○	○
トイレ	ベビーベッド	○	○		⑳	○	⑲	○	⑳		○	○	○	○	○	○		○	○
トイレ	オスメイト対応洗浄設備	○	○			○		○			○	○	○		○			○	○

※6＝**伏見駅は**、地上～改札口で、**日土地名古屋ビルＥＶ　7:00～22:00**と
車いす対応型エスカレーターを利用。改札口～ホームは、ＥＶを利用。

★鶴舞線

駅名		上小田井	庄内緑地公園	庄内通	浄心	浅間町	丸の内	伏見	大須観音	上前津	鶴舞	荒畑	御器所	川名	いりなか	八事	塩釜口	植田	原	平針	赤池
エレベーター（地上～ホーム）		○	○		○	○	○	※6	○	○	○	○	○	⑲	○	○		○	○	○	
車いすルート		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	⑲	○	○		○	○	○	
トイレ	車いす使用者対応	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	
トイレ	ベビーベッド	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		⑲	○	○		○	○	○	
トイレ	オスメイト対応洗浄設備		○		○	○	○		○	○		○				○		○		○	

※7＝**国際センター駅は**、地上～改札口で、**国際センタービルＥＶ　8:00～22:30**と
車いす用階段昇降装置を利用。改札口～ホームは、ＥＶを利用。
●＝久屋大通駅→名城線参照

★桜通線

駅名		中村区役所	名古屋	国際センター	丸の内	久屋大通	高岳	車道	今池	吹上	御器所	桜山	瑞穂区役所	瑞穂運動場西	新瑞橋	桜本町	鶴里	野並
エレベーター（地上～ホーム）		○	○	※7	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
車いすルート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トイレ	車いす使用者対応	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
トイレ	ベビーベッド		○	○	○		○											
トイレ	オスメイト対応洗浄設備		○		○		○											

第２２回リハビリテーション工学カンファレンスへのお誘い

いりゃあせ　NAGOYA！　人と出会う。技術と出会う　～アツく語ろう！みんなの生活（くらし）～

担当　田原(作業療法士)

今年の夏　名古屋は、アツく　なります。全国から福祉用具の研究開発に取り組んでいる人たちが国際会議場に集まります。一緒に「ものづくり」の人たちとの交流を楽しんでみませんか。今回は、さまざまに展開されている１２０近い福祉用具の研究開発を、生活を軸にわけて発表します。「バリアーフリー」「座位補助」「情報伝達」「住環境」「スイッチ」「下肢装具」「車いす」「教育」「就労」「視覚障害」「支援活動」など耳なれたキーワードですから私たち一般でも聞きやすくわかりやすいでしょう。リハ工学カンファレンスは、福祉用具の利用者の意見を尊重することを大事にしています。研究発表への質問・意見「大歓迎」と実行委員が口をそろえています。この情報誌がとどく頃からホームページが充実してきます。プログラムも掲載する予定ですので是非チェックしてください。興味のある方は、下記の事務局までお問い合わせください。

今年の「生活の道具相談室」は“福祉用具の開発に取り組んでいる人たちの風を一緒に感じましょう”をテーマに、リハ工学カンファレンスに紹介された福祉用具を取り上げて「道具をつかうヒント」を紹介してゆきます。おたのしみに！！

ＵＲＬ　http：//www.resja.gr.jp/conf-22/
開催日　２００７年8月23日（木）から25日（土）
場　所　名古屋国際会議場（名古屋市熱田区西町1－１）
事務局　日本福祉大学福祉テクノロジーセンター内
電話０５６９－２０－０１４３
ファックス　０５６９－２０－０１０２
E-mail：conf-22@resja.gr.jp
※参加申し込み、参加費支払いの問い合わせ
E-mail：conf-22-join@resja.gr.jp

事前申し込みは７月１０日から、当日参加可。
※障害者のアクセス対応の問い合わせ（交通機関、宿泊施設、トイレ情報など）
E-mail：cof-22-access@resja.gr.jp
参加費　一般･全日参加１５，０００円(論文集含)、１日参加５，０００円／学生８，０００円（論文集有）、４，０００円（論文集無）／社会人学生は一般会費になります。

【一般に無料公開される企画－主なもの－】

8月23～25日　福祉用具･関連機器の展示
「福祉機器コンテスト２００７　１次審査通過作品」

8月24日　支援技術基礎講座、グループ紹介など
支援技術基礎講座「身体と道具の出会い」ものづくり入門。自助具ボランティアネットワークの活動紹介。交流広場での６ブーズ（ファッション・キッチン・ハウジング・スポーツ・アート・未来）によるグループ活動紹介、相談、パーフォーマンス等。

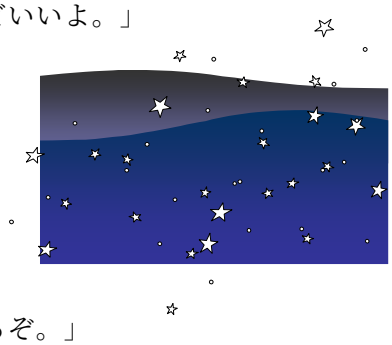
8月25日　公開セミナー　午後1時～4時
基調講演　「誰もが心豊かに住み続ける地域社会をめざして」
兵庫県リハビリテーションセンター
名誉院長　澤村誠志氏
シンポジウム　「生活を支えるテクノロジー」
教育現場のテクノロジー
東京大学先端技術開発センター　中邑賢龍氏
就労現場のテクノロジー
バーチャルメディア工房　上村数洋氏
在宅現場のテクノロジー
東京老人総合研究所　小島　操氏
生活を支えるテクノロジー
早稲田大学人間科学学術部　畠山卓朗氏

善光寺参り

堤　剋喜

「先生、明日は休みます。」
　「ほう。まあ構わないが。どうして？」
「泊まりがけで長野へ行くことに。」
　「家族旅行？長野に親戚でもいらっしゃるのかな？」
「いいえ、教会関係の人たちと。」
　「ああ、例の人たちの何かの集まりに出るのか。」
「・・・そうです。」
　「わかった。気をつけていっておいで。」
一応クラス担任の事前了解は取れた。細かく聞かれずにすんで助かった。
カトリック系ということになっている団体の「研修兼懇親旅行」の目的地が
どうして善光寺になったのか、詳しい説明は聞いていなかった。
＜きっと偉い人たちが決めたんだろう。＞

長野へ向かう途中に立ち寄ったサービスエリアで、マイクロバスを降りようとした。
「そういえば、今日学校はどうしたの？」
もちろん僕をからかっただけだが、自分の口からは答えたくない質問。
＜ずる休みしたって知っているくせに。意地悪。＞
困った顔でいると、助け船が出た。
「事務局長さん、聞かぬが花だよ。　ここの大人のほうに責任があるよなあ。
　学校がある日に連れ出したんだから。
　でもな、彼は４月からは中学３年生だろ。高校の合格祈願にちょうどいいよ。」



長野の夜景は特別なものに見えた。
＜まるでプラネタリウム。＞
星がたくさん出ている上、一つ一つの星がすぐ近くにある。
星明かりと月明かりが、街の灯と互角。

ホテルで初対面の方と相部屋になった。雑談するうちに
「それ（学校の美術の成績が悪いこと）は、障害のせいじゃない。
　あんたに絵心がないんだよ。障害者でも絵がうまい人はたくさんいるぞ。」
何か言い返そうとはしたが、すでに一本とられていた。
あきらめて、しゅんとなった。
「まあ、普通（養護学校でない）の学校に行っているんだから、頑張り屋なんだろうな。
　私も５年生までは普通校だった。苦労はわかるよ。
　さて、照明を暗くしておこう。目が疲れないようにね。」
結局、徹夜で話し込んだ。

中学校で最後の美術の授業は「七宝焼き」だった。
楕円のペンダント状の地金に顔料を塗り、窯代わりの電子レンジで加熱して定着させる。
気に入った絵柄ができるまで、塗りと加熱を繰り返す、そんな課題だった。
曲面の上に線や絵は作れそうにない。僕に出来るのは、斑点をつけるぐらい。
黄緑を地にして、赤、白、黄色と青の斑点をつけていくことにした。
電子レンジのところへ３度目に行ったとき、授業時間終了間近だった。
「これで完成、ということでいいかな？」
　「はい。でも完全に行き当たりばったり。ダメだな。これじゃ。」
「いや。そういのもなかなかいいもんだよ。これ、悪くはないと思うよ。」
そのときは意識しなかったけれど、
これが「学校の美術の先生」からもらった最後の言葉になった。
以来、学校で美術の授業を受ける機会はなかったから。

中３の後半はクラスメイトとの関係が破綻していた。
高校入試の合格通知をもらってからは、卒業式まで登校を忌避して身の安全を図る、
そんな選択肢もあるにはあった。
けれども、もしそうしていたら、「七宝焼き」は作れず、
あんな言葉も聞けなかったろう。

チックトラベル　ハートＴＯハート

夏休み　グアム４日間

３時間ほどでいける海外なので体力的にも楽な行き先です。青い海を眺めて１日中過ごしてもいいし、買物に出かけても良いでしょう。数々のショーも充実していて、仲間や家族と一緒に出かけて楽しめる場所です。

期　間：８月１日（水）～４日（土）
料　金：ひとり 168,000 円（２名１室）
出発地：　中部・成田・関空・福岡
ポイント：添乗員同行・リフトバス利用

エアーズロックとシドニー　７日間

大自然をたっぷり味わえるエアーズロックを観光します。朝日や夕陽に照らされるエアーズロックは昼間とは違った雰囲気が満喫できます。シドニー市内にはモノレールも走っていて、車椅子でも自由に乗り降りができます。

期　間：9 月 25 日(火)～10 月１日(月)
料　金：ひとり 398,000 円（２名１室）
出発地：　中部・成田・関空
ポイント：　添乗員同行

キラウエア火山とマウナケア山頂の夕陽と星空観賞６日間

普段なかなか行けないマウナケア山頂は星空観賞には一番適した場所といえます。今回の旅行では望遠鏡を利用して星座の説明を聞きながらロマンチックな星空を楽しむプランが含まれています。

期　間：９月１３日（木）～１８日（火）
料　金：ひとり 328,000 円（２名１室）
出発地：　中部・成田・関空
ポイント：添乗員同行・専用バス利用（一部リフト）

夏休み北海道　道東４日間

ユニバーサル・デザインホテルで有名な風曜日に宿泊し、アウトドア体験を楽しむツアーです。丹頂鶴で有名な釧路湿原にもご案内します。夏のさわやかな北海道を満喫してください。

期　間：８月２０日（月）～２３日（木）
料　金：ひとり 148,000 円（２名１室）
出発地：　中部・東京・大阪

大自然の実りの秋･北海道 道東３日間

釧路湿原を走るノロッコ号に乗って楽しめます。この季節は食べ物が美味しい季節。一足早い秋の雰囲気と美味しい食べ物を思いきり満足してください。

期　間：９月２０日（木）～２２日（土）
料　金：ひとり 138,000 円（２名１室）
出発地：　中部・東京・大阪

〔予告〕福祉先進国視察ツアー デンマークの福祉を学ぶ８日間

ヨーロッパの福祉はデンマークのオーフスが基準になったといっても良いでしょう。この街に訪問し、グループホームや支援施設、ひとり暮らしの人を訪ねてみます。皆さんのお役にたてる情報がたくさん詰まったツアーです。

期　間：１０月１４日(日)～２１日(日)
料　金：ひとり 495,000 円（２名１室）
出発地:中部・成田・関空(他空港から接続可能)

■申し込み･問い合わせ■

〒460-0003 名古屋市中区錦 1-20-19　名神ビル 6F
TEL：052-222-7611　FAX：052-222-2778
http://www.tictravel.co.jp/

こちらからお伺いする旅行会社「トラベルパレット」

♪この夏おすすめの爽やか北海道♪

旭日岳ロープウェイと旭山動物園～札幌・函館をめぐる４日間（オーダーメイドの手配旅行です）お花畑の旭岳で温泉を愉しみ、話題の旭山動物園へ。ご移動はレンタカー・ＪＲ等、身障手帳や早割きっぷ、シルバー割引など色々お探しします。

期　間：７月～９月など（ご相談）
料　金：69,800 円　(旭岳温泉・札幌・函館１泊での一例。ご人数・割引きっぷ等で上下します)
ポイント：ご要望をお知らせ下さい。
（電話･FAX･メール等、又はご都合のよい場所へ伺い、詳しくご相談させていただきます。）

■申し込み･問い合わせ■

トラベルパレット　担当：桜井・林
〒453-0021 名古屋市中村区松原町 1-24
COMBi 本陣(旧本陣小学校) S204
TEL：052-526-8008　FAX：052-483-8883
sakurai@t-palette.jp
http://www.combi-honjin.com/s/s204_1.html

グルメな調査隊

ー第４９弾ー

地下鉄荒畑駅にエレベーターが設置されアクセスしやすくなりましたので、ずいぶん前からあるお店を紹介します。にんじんサラダがとてもおいしい！お店の方の応対も親切です。

名古屋市Ｓさんより

El　Torero（エルトレロ）

開店以来 30 年、本当にスペインにありそうな外観のスペイン料理店。「料理ももちろんですが、調度品、BGM など全体で名古屋にいながらにしてスペインの雰囲気を楽しんでください」という、スペインで修行を積んだオーナーシェフの本格的な料理が味わえます。

住　所：名古屋市昭和区御器所３－１－４３

TEL052-882-5977

FAX052-882-5951

最寄駅：地下鉄桜通線荒畑駅エレベーター出口から徒歩３分、４番出口から徒歩１分

ジャンル：スペイン料理

★ランチ（11:40～14:00、日祝日もＯＫ）

1000 円ランチ：サラダ、スープ、タパス、メイン料理（肉か魚料理で半月毎に変わる）、パン or ライス、デザート、コーヒーor 紅茶

スペイン料理セット：イカの姿の墨煮 1100 円、豚肉のフラメンコ風チーズ焼き 1200 円などにサラダ、タパス、スープ、パン or ライス、コーヒーが付く

パエリアセット：4000～6000 円（2人から）

★ディナーメニュー例

イベリコ豚のロースト 1600 円、砂肝のオリーブオイル焼き 850 円、人参サラダ 400 円（テイクアウトもできる）、コース 4200 円、5250 円

（4200 円メニュー例・・・オードブル、人参サラダ、ホタテ貝のクリーム煮、イカの墨煮、スープ、サラダ、イベリコ豚のソテー、パエリヤ、デザート、コーヒー）

★イベント

第２土曜日 フォルクローレ生演奏、毎週日曜日 フラメンコショー

★店内の様子

入口：開きドア、1 センチ程度の敷居あり

店内：1階（段差なし）：テーブル 25 席

上フロアー（階段２段）：テーブル 25 席

テーブルの脚の形状に特徴あり、車いす利用の方は近づきにくいテーブルもある。事前予約がおすすめ。

★お手洗い　店内：洋式トイレ（階段を上がったフロアーにあり、手すりなし）

最寄の障害者用トイレ：荒畑駅（オストメイト設備有）

★駐車場　10 台、車いす用スペースなし

★営業時間　毎週火曜日定休

ランチタイム 11:40～14:00（ラストオーダー）

ディナータイム 17:00～22:00（ラストオーダー）

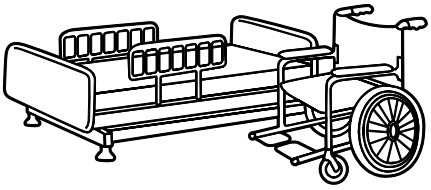
★サポート倶楽部会員特典

ディナータイムのファーストドリンク１杯サービス（2007 年 8 月末日まで有効）。サポート倶楽部会員証を提示して下さい。

Welfare2007に行ってきました

担当　ナベ(脳性まひ、電動車いす)

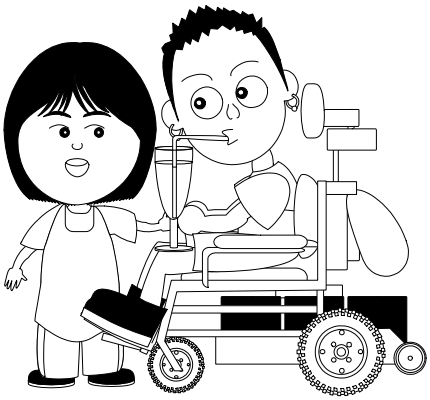
5月18～20日、第10回国際福祉健康産業展～ウェルフェア2007～(通称「福祉機器展」)がポートメッセなごや（名古屋市国際展示場）で開催されました。第10回と随分回数を重ねているので、期待して初日に行ってきたのですが、さほど目新しいものは出展されておらず「いつもどおりの福祉機器展」でした。相変わらず福祉車両が広い場所を占めているなかで、車いす関係、住宅改造（浴槽・入浴介助機器、トイレ用具、スロープ・階段リフト・エレベータなど段差解消機器、手すり等々）、食品・食事介助機器、ベッド、衣料品、安全支援機器、コミュニケーション支援機器・ソフト、施設向けＰＣソフト、リハビリ支援機器など分野は多岐にわたっていました。



このうち、福祉車両では、自操型のものには車いす自動格納装置（車内に格納するもの、屋根の上にオプションで格納庫を載せるもの）が付いているものや、専用の電動車いすで運転席に着くことができ【子機】のようにその電動車いすだけで外を歩き回れるものがありました（欠点：専用車いすしか使えないこと）。また、介助型のうち、スロープ式のものには車体を横や後ろに傾ける（チルティング／ニーリング）機構があるのに加え、電動ウィンチ（車いす引き上げ・引き出し装置）がありました。

爽快クールシート“そよ風”

私が最も気に入ったのは『爽快クールシート“そよ風”』という車いす補助装置です。これは座面に敷いたり背もたれに挟んだりして使うもので、前面（座面の下）に垂れさがっている充電式の電動ファンで風を取り込み、シート部分から風を吹き出すというものです。夏場に長時間座っている人には非常に有効だと思います。メーカーに問い合わせたところ試用できるとのこと、次号では使用レポートを書きたいと思います。



福祉用具のリサイクル情報（06/20 現在）

欲しいもの、不要なものはありませんか？

リサイクルの輪を広げよう！

◆ＡＪＵ自立の家は、なごや福祉用具プラザの中で、福祉用具のリサイクル品のコーディネートと福祉用具の販売、自立生活情報の提供などをしています。

譲りますよ！ ＊金額の表示のないものは無料

★ベッド、床周り品

・3 モーターベッド　パラマウントベッド
\50,000　2 年使用
・3 モーターベッド　パラマウントベッド
\50,000　5 ヶ月使用
・2 モーターベッド　8 年使用
・エアーマット　トライセル　\20,000　2ヶ月使用
・エアーマット　ウエイビングスターセルタイプ
\30,300　未使用

★移動用品

・手動車いす　左麻痺用
・電動車いす　EMC210　\50,000　３年使用
・電動車いす　EMC200　\50,000 リサイクル品
・電動車いす　スポルト　\50,000　数回使用
・シルバーカー　\13,000　未使用
・シルバーカー　応相談　未使用
・スロープ　ワイドスライドスロープ
\15,000　未使用

★入浴用品

・入浴用チェア（肘掛け跳ね上げ可）　３ヶ月使用
・入浴用チェア　TOTO　\5,000　１回使用
・入浴用車いす　シャワースカール
\20,000　１回使用
・介助ベルト（入浴用）　\1,000　未使用
・リフト　マイティエイド８０（水圧式）
\100,000　5 年使用
・リフト　つるべ F2 セット　\80,000　リサイクル品
・簡易浴槽セット　応相談　１０回位

★トイレ用品

・ポータブルトイレ（パイプ式折り畳み可）３年使用
・木製ポータブルトイレ　シャワポット　４回使用
・木製ポータブルトイレ　１回使用
・ポータブルトイレ(プラスック製)\5,000　2ヶ月使用
・木製ポータブルトイレ EC 型 328
\10,000　未使用
・女性用差し込み便器　未使用
・簡易昇降便座（垂直昇降タイプ）上下に昇降
\20,000　１週間位使用

★その他

・移動介助器　カールくん KH3B　５年位使用
・カートさすべえ　１年くらい使用
・キャリングケース付きポータブルハンドシャワー
（ 寝た状態で洗髪可能。）　￥6,000
・吸引器　\50,000　２年半使用
・リフト　マイリフティ A　\70,000　１回使用
・リフト　つるべーＦ２セット　\80,000　１回使用
・階段昇降機（曲線型）スーパーレターα
\500,000　２年使用
・階段昇降機（直線型）SG-2　\200,000　５年使用
・靴　装具用の靴　右のみ　\500
・パジャマ　フドーボディースーツ＆フドーズボン

譲って欲しい！

ベッド、車いす、トイレ用品、トーキングエイド、紙おむつ、電磁調理器、入浴用品、リーチャーなどを探している方もたくさんみえます。

「譲って」欲しい方、「譲りたい！」という方、ぜひご連絡下さい。

●ＡＪＵリサイクル相談事業部●

TEL 052-851-0059　FAX 052-851-0159

ホームページでもみることができます。

http://www.aju-cil.com

毎週水曜日の朝日新聞（朝刊）にも、リサイクル情報が掲載されています。

読者のこえ

名古屋のバス事情

今年の３月、名鉄バスセンターにエレベータが完成しました。また、４月より市バスのノンステップバスが１０系統ほど増加して市内のバス事情も向上してきました。リフトつきバスで走っていた名駅１５がノンステップバスになったように、リフトつきの市バスは全てノンステップになったようです。

バスレーンにおいても市の南部を走る「基幹１」は、全ての車両がノンステップになりました。一方、道路中央のバスレーンを走る「基幹２」では、構造上運行ができないようで、ノンステップの市バスは１台も走っていません。同じ道路を走る名鉄バスは、ワンステップ方式の車いす対応の車両が走っています。（このワンステップ方式は、スロープが長く重そうです。）ただ、名鉄バスの時刻表には車いす対応の標示がなく、どの便が車いすで乗車できるのか解かりません。その日の都合によってダイヤ編成をしているようで、これもコストとか使用頻度を考えれば選択肢の一つとは思いますが、時刻表には標示がほしいものです。この車いす対応のバスについて、メイン路線の四軒家－市役所－名鉄バスセンター間は、日中でも１時間に７本～８本と本数が多く、このうちかなりの台数、車いす対応の車両が走っているようです。正確には、前日の午後以降に、名古屋営業所（電話０５６１－６２－７６７７）に乗車停留所と降車停留所、あわせて希望時間を問い合わせれば、乗車可能なバス時刻を知らせてもらえるそうです。　名古屋市　Ｋ.Ｍ.

今号のバリアフリー情報に「名古屋市のノンステップバスと地下鉄のバリアフリー事情」を掲載しています。あわせてお読みください。

松阪駅にエレベータ

３月１８日に松阪駅のエレベータが使用開始となりまし、早速見に行ってきました。

ＪＲ側、近鉄側それぞれに２基ずつ設置され、松阪駅での乗り降りが便利になりました。

松阪駅周辺には「ステーキハウス三松」「和田金」「牛銀本店」といった松阪牛の料理店が数多くあり、松阪駅では松阪牛の駅弁が売られています。

名古屋から松阪へは近鉄特急やＪＲの特急南紀号で行く方法もありますが、安く行くのであれば近鉄急行やＪＲの快速みえ号を利用するといいでしょう。　春日井市　Ｋ.Ｓ.

いろいろ情報

バリアフリーカヌーイベント

プラスαなカヌーイベント。障害のある方ものれるようカヌーに工夫。対象小学生以上（小中学生保護者同伴）。定員各１５名。参加費各５００円。

★チャレンジカヌー。７月２１日（土）９：３０～１２：００。ブイを浮かべたコースでタイムチャレンジ。

★ネイチャーカヌー。８月２６日（日）９：３０～１２：００。カヌーにのって川原の探検、インストラクターによる生き物や植物の解説。

★アウトドアカヌー。９月３０日（日）９：３０～１２：００。アウトドア料理の紹介・試食あり。

車いすダンス教室

８月１２日（日）１３：３０～１５：３０。どなたも参加可（中学生以下保護者同伴）。定員２０名。参加費無料。

※上記いずれのイベントも主催：木曽三川公園管理センター。場所および申込：長良川サービスセンター（電話０５８４－５４－２０７５、ＦＡＸ０５８４－５４－５２７５）。事前申込必要。

自立生活プログラム入門編 開催のお知らせ

ＩＬＰ（自立生活プログラム）の入門編が、自立生活センター・生活塾の主催で開講されます。自立生活にチャレンジしたいと考えている人、今後チャレンジするかもしれないと思っている人、是非この機会に受講してはいかがでしょうか。開催日時がせまっていますのでお早めに・・・

申し込みは、電話、ＦＡＸ、メールで、自立生活センター・生活塾までお願いします。

自立生活プログラム入門編

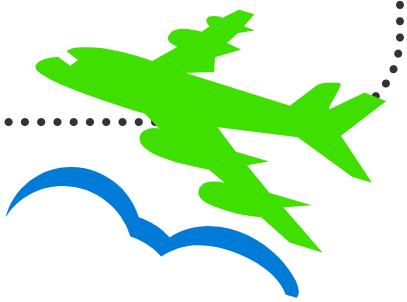
ＩＬＰ　ファーストステップ

自立生活ってハードルが高く感じてしまいませんか？

実は自立って誰にでも出来ることなんです。自立生活をすると“今まで我慢していたけど、夢に思っていた”ってことも実現できます。今回はそんな自立生活への第一歩としてこのプログラムを企画しました。

また、リーダーの３人や参加される方、各々が様々なエピソードを持っているはずです。そんなエピソードを皆で話をしながら共有していきたいと思います。みんなの距離が少しでも縮まるようなプログラムにしていきたいと願っています。

◆日　時：2007 年 7 月 14 日（土）　10：00～16：30（9：30 受付開始）
◆場　所：西生涯学習センター第 3 集会室（名古屋市西区浄心１－１－４５）
◆参加費：2,０００円
◆募集人数：８名程度
◆対　象：障害をもっていて、自立生活に興味のある方。
◆講　師：岡田健司氏【京都市】、伊藤秀樹氏【名古屋市】、加古雄一氏【名古屋市】
◆主　催：自立生活センター・生活塾
◆後　援：障害者ヘルパーステーションマイライフ西
　　名古屋市社会福祉協議会（予定）、名古屋市西区社会福祉協議会（予定）
◆参加されたい方は、生活塾まで申し込み下さい（方法は問いません）
◆参加〆切：定員になり次第締め切ります
※介助者は各自で手配してください。難しい方は相談ください。
※昼食は各自で用意してください。



プログラム（予定）
☆プログラム①　講演～私の自立生活～
☆プログラム②　自立ってなんだろう？　障害ってなんだろう？
☆プログラム③　私たちに必要な制度（ヘルパー　車いす　年金　生活保護　etc…）

―問い合わせ―
自立生活センター・生活塾
ＴＥＬ：052-506-8733　ＦＡＸ：052-506-8736
E-mail：seikatsujuku@s8.dion.ne.jp
担当：加古雄一

医療相談室

長年、診療機関で障害を持つ仲間の医療ケアに携わってみえた「リハビリテーション医の万歳登茂子先生」のご協力で開設。

《相談日》6月 30 日、7月7日、 21 日、 28 日
8月4日、 25 日
いづれも土曜日、予約制、 30 分程度
時間は要相談

《対　象》障害を持っている人

《費　用》無料

《受　付》自立生活情報センター
ＴＥＬ　052-841-6677
ＦＡＸ　052-841-6622
E-mall　joho-c@aju-cil.com

《場　所》名古屋市昭和区恵方町 2-15
（社福）　AJU 自立の家　サマリアハウス内相談室

生活の道具相談室

障害当事者、福祉、医療関係者が有志で開設。
道具の導入相談、道具の工夫や制作に対応。

《相談日》7月7日、 21 日、8月4日
いづれも土曜日13:00～

＊事前にご連絡いただくとスムーズになります。

《費　用》無料

《受　付》サマリアハウス　淺井
ＴＥＬ　052-841-5554
ＦＡＸ　052-841-2221
E-mall　joho-c@aju-cil.com

《場　所》名古屋市昭和区恵方町 2-15
（社福）　AJU 自立の家　サマリアハウス内

やさしい住まいの支援ネット

障害当事者、福祉、医療、建築関係者が有志で開設し、住宅の改造などの相談で対応。

《相談日》生活の道具相談室と同じ

＊受付、場所は生活の道具相談室と同じ

ホームページができました！！
http://sumai-sien.hp.infoseek.co.jp/

お詫びと訂正

87 号誌の 30 ページに記載された「恒例の名大祭ツアー開催のお知らせ」記事に下記のような間違いがありました。大変申し訳ありません。 深くお詫びします。

間違い部分
「日時：5月9日（土）、１０日（日）」
↓
正しくは、
「日時：6月9日（土）、１０日（日）」

情報募集中！

自立支援法への意見、町で見つけたアクセシブルな穴場、おろ？ちょっとおかしいな？と思う車いすトイレの造り、親切なお店、グルメなお店、みんなに聞いて欲しい事件などなど、皆さんからの情報をお待ちしています。

ぜひぜひ、編集部までご連絡下さい

■編集部
ＴＥＬ　052-841-9888
ＦＡＸ　052-841-3788
E-mall　f-joho@aju-cil.com

お待ちしていま～す

編集後記

梅雨の時期を迎えましたが、福祉情報誌の読者の皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

88 号より、私、お任せ情報担当の佐々木克己とでっちゃんこと森美由貴の二人が編集長を務めることになりました。新しい編集委員も加わり、情報誌は新たなスタートをきります。これからも福祉情報誌をよろしく、お願いします。

今後も福祉情報誌のスタンスは変わらず、読者の暮らしに役立つ情報を提供していきます。

隔月発行
年間購読料　1,500 円
振込先：郵便局00890-0-905073